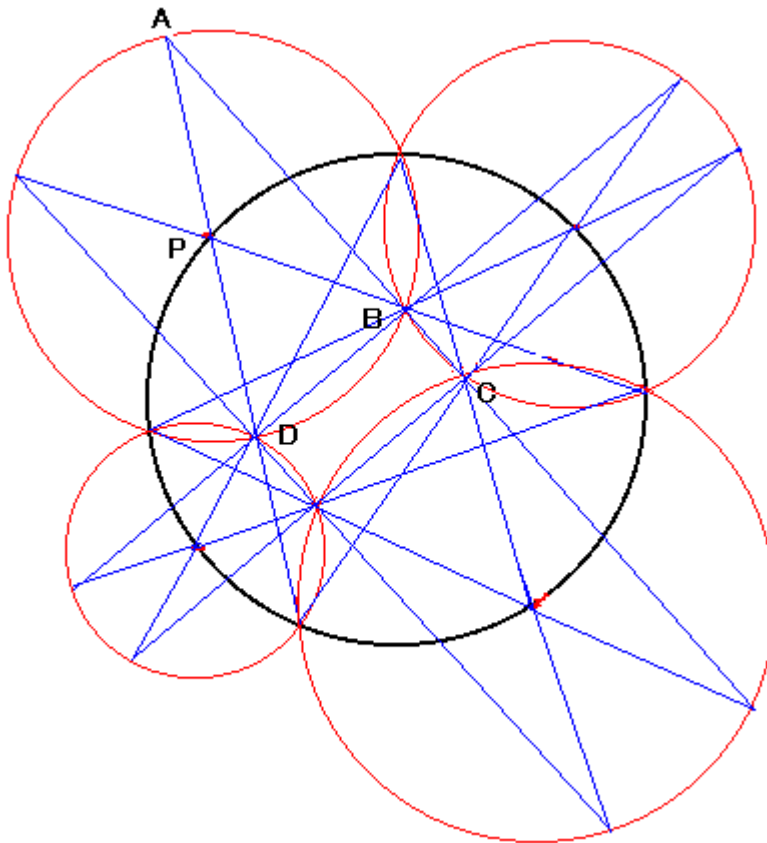


円と星形の定理(その3)

中川宏

円が4つの場合の変則的な星形も簡単に証明できます。



線分DPを円Pの円周上まで延長した点Aが直線BC上にあることを示せばよいわけです。

四弁花長方形の定理から、 $\angle DBC = 90^\circ$

他方、 $\angle ABD$ は円Pの直径ADの円周角なのでこれも 90°

よってABCは一直線です。